記者発表資料

平成２４年１２月２１日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第３回定例会議（１２月１２日）の審議概要について

～抽出案件６件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２４年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第３回定例会議が、１２月１２日（水）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件６件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　佐藤（さとう）　豊（ゆたか）（内線６２２１）

経理調達課課長補佐　鈴木（すずき）　重勝（しげかつ）（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成２４年１２月１２日（水）　東北地方整備局会議室		
委員	部会長　真野　明　（東北大学災害科学国際研究所教授） 部会長代理　貝山　道博　（山形大学人文学部教授） 委　員　齊藤　幸治　（弁護士）		
審議対象期間	平成２４年　７月　１日～平成２４年　９月３０日		
総審議案件	６件	〈備考〉 （１）報告事項 （「調査基準価格の設定の考え方」についての追加説明） （２）工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 （３）指名停止措置の運用状況 （４）談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 （５）再度入札における一位不動状況 （６）低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工事 一般競争（WTO対象）	１件		
工事 一般競争（WTO対象外）	２件		
工事 工事希望型競争	０件		
工事 工事希望型以外の指名競争入札	０件		
工事 随意契約	０件		
建設コンサルタント業務等	２件		
役務の提供等及び物品の製造等	１件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回　答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

審　議　案　件　　工　事　概　要　書

	入札・契約方式	工　事　名	工事種別	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争 （ＷＴＯ対象）	相馬港本港地区防波堤（沖）（災害復旧）築造工事	港湾土木工事	2,329,950	4者	4者
2	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	八戸港八太郎地区防波堤（北）（災害復旧）上部外工事（その２）	港湾土木工事	480,900	1者	1者
3	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	秋田港飯島地区防波堤（新北）消波外工事	港湾土木工事	113,505	10者	8者

審議案件　建設コンサルタント業務等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務区分	契約金額 （単位：千円）	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数
4	簡易公募型競争	宮古港竜神崎地区防波堤細部設計外業務	建設コンサルタント等	20,212	13者	13者

	入札・契約方式	業　務　名	業務区分	契約金額 （単位：千円）	技術提案書の提出者の選定数	技術提案書の提出者数
5	標準プロポーザル	大船渡港湾口防波堤構造検討業務	建設コンサルタント等	35,070	9者	4者

審議案件　役務の提供等及び物品の製造等概要書

	入札・契約方式	業　務　名	業務分類	契約金額 （単位：千円）	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争	小名浜港ケーソン進水設備修理工事	物品の製造	136,500	1者	1者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　　答
1-1	定例報告 「報告事項」 （「調査基準価格の設定の考え方」についての追加説明） ・特になし	
1-2	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・参加者の有無を確認する公募手続きを行う契約とは何か。	 ・業務の応募要件を満たすと認められる者がいない場合には特定法人等との随意契約手続きに移行することを予め公示して行う契約手続きのことです。
1-3	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし	
1-4	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案」 ・特になし	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし	
1-6	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし	
2-1	審議 「相馬港本港地区防波堤(沖)(災害復旧)築造工事」 ・ほとんどの入札者が、調査基準価格に近いところでの入札となっているのは何故か。 ・東北においては復興にむけた特需があるのに調査基準価格に近い入札となるのは何故か。港湾事業に係る予算は、全国の動向と比較してどのように推移しているのか。 ・特定ＪＶの代表者以外の構成員に求めている施工実績は、本工事の品質確保の点から問題はないのか。 ・この工事の基礎工にかかる金額は、全体の何割くらいか。	 ・積算の内訳も公開されており、また、入札参加者の積算の精度が上がってきていることと考えられます。 ・全国ベースでは、平成２２年度に大幅に減少し、以降、横ばいの状態です。なお、東日本大震災の復旧のための予算は別枠で確保されていますが、それを加えても、平成２１年度の予算には遠く及ばない状況となってます。 ・特定ＪＶの代表者には相応の施工実績を求めており、品質確保に問題はないと考えています。 ・全体額の約３割です。

	意見・質問	回　　答
2-2	審議 「八戸港八太郎地区防波堤（北）（災害復旧）上部外工事（その２）」 ・入札参加者が１者となっている要因は何か。 ・本工事には、「上部工」と「消波工」の異質の工種が組み合わされていると思われるが、このために、入札参加者が少なかったのではないか。	・対象工事で施工実績を有し、入札参加しなかった近隣の４者へ開札後に、ヒアリングしたところ、既に受注している他機関の災害復旧工事に施工実績を有する技術者を配置しており、本工事に配置する技術者を確保できなかった、とのことでした。 ・「上部工」「消波工」とも港湾工事においては通常行われているものであり、この組み合わせが原因で、入札参加者が少なくなったものではないと推察されます。
2-3	審議 「秋田港飯島地区防波堤（新北）消波外工事」 ・辞退者が２者いるが理由は何か。 ・落札者の入札額が他の入札者のそれと比較して額が低くなっている理由は何か。	・開札後にヒアリングしたところ、１者は配置予定技術者が他機関発注の工事に配置することとなったため、また、他の１者については労務者が太平洋側の災害復旧工事に回り本工事に手配ができなくなったため、とのことでした。 ・入札者から提出された工事費内訳書を比較すると、落札者は他者と比べて一般管理費が安くなっていたことから、落札者は特に受注意欲が旺盛であったものと推察されます。
2-4	審議 「宮古港竜神崎地区防波堤細部設計外業務」 ・同じ入札価格の者のうち、技術評価点が上回っている者が落札者となったが、技術評価点の差がついた理由は何か。	・配置予定技術者の技術者資格の違いにより、差がついたものです。
2-5	審議 「大船渡港湾口防波堤構造検討業務」 ・平成１４年度以降の同種業務「津波防護効果を考慮した防波堤基本設計」の実績を求めているが震災以前でも実績はあるのか。 ・特定された者と特定されなかった者で点数に大きく差あるが理由は何か。 ・落札率が高い理由は何か。	・東北に限らず、全国で同種業務の実績が確認されております。 ・配置予定技術者の業務経験と特定テーマの提案が優れていることから、差が出たものです。 ・プロポーザルを求めるにあたり、予め概算予算額を技術提案要請書に示していることによるものと考えています。
2-6	審議 「小名浜港ケーソン進水設備修理工事」 ・落札率が高い理由は何か。	・当該業者は全国で同様の修理実績があり、精度の高い積算となったものと考えられ、また、入札参加可能な業者が少ない専門工事であることから、落札率が高くなったものと推察されます。